

特色のある教育について
【校長会 意見】

小中一貫教育について【校長会意見】

小中一貫教育の良さ

- ① 学習や指導面で連続・系統性を意識した教育活動ができる。
- ② 9年間の見通しを持ったカリキュラム編成ができる。
- ③ 小・中の教師が互いに乗り入れ授業を実施し、専門的指導の充実ができる。
- ④ 小・中で異学年交流をすることができ、子どもの関わりを広げることができる。
- ⑤ 小学生が将来の自分像(中学生)をイメージしやすい。
- ⑥ 面倒見の良い中学生が育つ。
- ⑦ 生徒の中学校への適応困難が軽減され、中1ギャップが緩和する。

小中一貫教育について【校長会意見】

小中一貫教育の懸念事項

- ① 小中でのカリキュラム編成及び変更等の作業が大変。
- ② 人間関係が固定化してしまう。
- ③ 卒業、入学の節目が減り、中学校での目標設定の機会や小学校高学年が学校のリーダーになる機会が減る。
- ④ 同学年の人間関係が中学校進学時にリセットできない。
- ⑤ 校種の違いから組織、運営に関して課題があると想定される。
- ⑥ 授業の1単位時間が異なるので調整が必要。
- ⑦ 施設分離型の場合、教職員の移動の負担が大きい。

オンラインを活用した教育について【校長会意見】

できること

- ① 音楽会などの行事交流や出前授業などの単発的な学習。
- ② 教科や単元によっては他校と交流して取り組むことはできる。
- ③ 他校のプレゼンを聞くことで、刺激を得ることや取り入れること。
- ④ 校区探検で調べたことをオンラインで交流して市全体を知るなどの学習。

むずかしいこと

- ① 体験学習や実技・演習が伴うもの。
- ② 交流校の子どもたちが一緒に教室にいるかのような交流や話し合い活動。
- ③ 生身の人間同士がふれあい「絆」を深めるには、オンラインでは不十分。
- ④ 友だちとの日常生活のリアルな関わりができない。

登下校の課題について
【校長会 意見】

登下校の課題について【校長会意見】

小学校

- ① 道路が狭い、歩道が少ない、大きい道路の横断など、安全面が心配。
- ② 子どもの数が減り、登校班が組みにくい。
- ③ 集団登校、安全協力員の見守り体制の維持。
- ④ 集団登校から、自立登校へ変更している学校も増えている。

中学校

- ① 距離を基準としているが、通学路における治安や高低差等、子どもを通学させる上で不安となる要素が校区によって違う。
- ② 地域からは、保護者の送迎の車の駐車について苦情がある。
- ③ 電車・バスを利用した場合、交通費の負担が大きい。